

◇ 模擬講義のテーマ ◇

「認知症高齢者と家族の責任」

◇ 《設問1》（模擬講義の要点整理）の解答例 ◇ ※下線部はキーワードの使用例

認知症になると社会生活に支障が出る。認知症高齢者が死亡した事故では鉄道会社が遺族に対して裁判を起こした。加害者が認知症で責任能力がない場合、その監督義務者が責任をとるというルールがあるが、この遺族は責任をとる必要がないと判断された。介護に積極的に関わると監督義務者だったと判断される恐れがあったり、認知症患者が損害を発生させたのに誰も責任をとらないと被害者は救済されないといった問題点が残されている。 (200字)

※キーワード

認知症、責任能力、監督義務者、(家族の) 責任、介護

◇ 《設問2》の論題と評価の視点 ◇

〔論題〕

講義で取り上げた鉄道事故の発生を防ぐには、誰が、いつの時点で、どのような行動をとればよかったと思いますか。自分自身の考えを600字以内の文章で説明しなさい。

〔評価の視点〕

- ・設問文中の「誰が」については「Aの家族」や「鉄道会社」が考えられます。この両方に触れている答案是得点率80%を基準とし、どちらか一方のみに触れている答案是得点率60%を基準とします。
- ・上記の点について、Aの家族や鉄道会社以外に事故発生を防止するための行動をとることができる存在（たとえば国や自治体、警察といった行政機関など）を想定した答案是、内容に応じてプラス評価とします。
- ・答案で挙げている「事故発生防止のための行動」や「その行動をとるべきタイミング」が適切な内容か否かに応じて、基準から一定の範囲で加点または減点を行います。
- ・行頭の文字下げや段落分けが不適切な箇所があったり、誤字・脱字がある場合には、一定の減点を行います。